

事務事業名	公共建築物修繕等設計・積算事務		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠
政策名	08	北国の快適な居住環境づくり	所属部門	経済 部 商工都市振興 課 建築 係(グループ)
施策名	22	良好な居住環境の整備	課長名	木村 淳彦
基本事業名	4124	良好な住宅・住環境の整備	担当者名	佐藤 季之 (内444)
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 町政開始 年度 ~) (年度 ~ 年度)			

事業概要 公共建築物の新設・増築・改修について、各主管課からの依頼を受けて設計・積算を行う。	全体計画	(単位:千円)
	事業費	特定財源 一般財源 その他 事業費計 (A)
	人件費	正規職員従事人数 人 人件費計 (B)
	投入量	トータルコスト(A)+(B)

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 現地調査を行い、工種・工法の検討を行い、設計・積算を行う。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
17年度計画 平成16年度と同様。	名称 単位
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 各公共施設	ア 工事数 件
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 経済的で使いやすい施設建設を目指し、建物の維持保全のために最良の工法を選定する。	イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 公共施設の維持保全と地域に必要な建築物の新設によって、良好な居住環境の整備が図られる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 対象施設の数 ヶ所 イ ウ
	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 新たに建設した施設数 ヶ所 イ 改修をした施設数 ヶ所 ウ
	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 改修をした施設数 ヶ所 イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)
投入量	特定財源	千円						
	一般財源	千円						
	その他	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	3	2		
	人件費	千円	0	0	10,619	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	10,619	0	0	0	
活動指標	ア 件	35	39	34	29			
対象指標	ア ヶ所	22	28	25	25			
成果指標	ア ヶ所	2	4	1	1			
	イ ヶ所	20	24	24	24			
上位成果指標	ア ヶ所	20	24	24	24			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か? 公共建築物の新設・増築・改修について、各主管課からの依頼を受けて設計・積算を行っている。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 新築の建築物は減少し、改修が増加にある。ただし、工事量そのものは減少している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 各施設の安全性が問われている。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価				
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↘	公共施設の維持保全と地域に必要とされる建築物の新設によって、良好な居住環境の整備が図られる。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↘	施設の管理を含めて、民間による設計・積算業務を行うことができる。	
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 同上		
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↘	民間による設計・積算業務を行うことでコスト削減を図ることができる。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	施設の適切な維持管理等ができなくなり、危険性のある公共施設が増加する。	
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) 施設の管理を含めて、民間による設計・積算業務を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↘ [理由]		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↘ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↘ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】		
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	工種、工法の検討を行い、最適な工法で必要最小限の事業費で行っている。	
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↘	最小限の人員と時間で業務を行っている。	
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↘	施設によっては、使用料等を徴収している。	

3 改革・改善方向の部(PLAN)																		
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 施設の管理を含めて、民間による設計・積算業務を行うことができる。	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上			×														
	維持低下		×	×														
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ 町有の施設が多い、建設年次が古い、町として今後も必要な施設と役割を終えた施設と明確に区分する必要がある。																		